

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火2/木2/木3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅱ Chinese II		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	火2:E7/木2:T一/木3:K26	科目分類 外国語科目(中国語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:王 桂紅 /Eメールアドレス: /研究室:非常勤講師控室 /オフィスアワー:質問があれば授業前後の教室にいる間に聞いてください。			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい:中国語Ⅰにひきつづき、中国語でコミュニケーションするための基礎的能力を着実に身につけてもらうことがこの授業のねらいです。</p> <p>授業方法:単語や文法について説明するとともに、学生には単語や本文を読んだり練習問題に答えてもらったりしながら授業を進めていきます。</p> <p>授業到達目標:この授業では、次のことができるようになることを目標にします。</p> <p>①ピンインのついた文を正しく流暢に読むことができる。 ②授業(中国語Ⅰ及び中国語Ⅱ)で学んだ文法を用いて少し複雑な文を作ることができる。 ③授業(中国語Ⅰ及び中国語Ⅱ)で学んだ文法を用いて簡単なやりとりができる。 ④少し長い文章を読んで内容を把握することができる。</p>			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要)</p> <p>中国語Ⅱは、中国語Ⅰでの学習成果を基礎として、さらにしっかりとした基礎的能力を身につけてもらう授業です。中国語の発音がいっそう流暢になること、より多くの基本単語や文の構造・文法を理解し少し複雑な文が作れるようになることをめざして、教科書に沿って授業を進めていきます。</p> <p>第1, 2回「天気」 1. 形容詞述語文 2. 反復疑問文 3. 選択疑問文 4. “呢”の用法</p> <p>第3, 4回「何月何日」 1. 月日、曜日のたずね方、こたえ方 2. 時刻のたずね方、こたえ方 3. 動詞述語文</p> <p>第5, 6回「私の一日」 1. 介詞“离～”“从～到～”“在～” 2. 時間を表す語のある文</p> <p>第7回 復習(二)</p> <p>第8, 9回「買い物」 1. “了”について 2. 介詞“给” 3. “量词”(2)</p> <p>第10, 11回「中国語を学ぶ」 1. 数量補語(時間の量) 2. 比較の表現 3. 可能の助動詞“会”“能”</p> <p>第12, 13回「旅行」 1. 過去の経験を表す“过” 2. 数量補語(動作の回数) 3. 助動詞“想”“要”“打算”</p> <p>第14回 復習(三)</p> <p>第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p>教科書:劉愛莉・連清吉著『实用中国語10課』白帝社 辞書:『中日辞典』小学館(他の辞書も可)</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>○定期試験(70%), 授業中不定期に行う小テストの成績(30%)。ただし、授業参加の状況が悪い場合は成績をつけません。</p>		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			